

なんたん 社協だより

2015.3

第25号

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり



若手ママさんのグループ「南丹ママさんプラス」は、孤立しがちな育児期間を楽しむため、月に1・2回子ども連れてプラスバンドをする機会を作っています。育児と家事に追われるママさんが「自分の楽しみ」を生活に取り入れることで、心に余裕が生まれ、育児を楽しめるようになれば、との想いで活動されています。

※写真は、園部公民館での練習風景。

目次

- 「地域の未来をデザインする。」`ご近所福祉、で見守り、支え合おう …2～3
- 楽しまなくっちゃ! ボランティア(園部町ボランティア連絡協議会)・善意のご寄付 …… 4
- あなたの暮らしをささえます(生活困窮者自立支援相談) …… 5
- 赤い羽根共同募金ご報告 ……6～7
- インタビュー(「おはなしポケット」奥村はるみさん) …… 8

“ご近所福祉”で見守り、支え合おう

見守り・助け合いの基本は今も昔も向こう三軒両隣の「ご近所」です。ご近所どうしの自然なつながりの中で、日頃からあたたかく声をかけあって、見守り、支え合えることが、安心して暮らせる地域づくりの基本です。

そんな中、南丹市では民生児童委員、ふれあい委員による定期的な見守り・訪問活動が広がりを見せています。その見守り活動に活用されている「あんしん・あんぜん情報（通称：見守りチラシ）」の創刊100号記念事業を開催し、佛教大学岡崎祐司先生の講演会と各地域での見守り活動の報告がありました。

あんしん・あんぜん情報100号記念事業（2月14日 遊youひよしにて）

みんなでたすけあう あったか なんとん

八木町では、2ヵ月に1回民生児童委員とふれあい委員のブロック会議を開催し、情報交換や地域での活動の打ち合わせをしています。最初は関わりにくかった人も、根気よく見守り訪問を続けることで「大根炊いたん持って帰り～」と言ってくれるまでの関係性を築けました。“身近なおばさん”がふれあい委員として地域に関わっていく気軽な関係性が良いと思います。ふれあい委員になって、少し進んだご近所福祉ができてよかったです。

（八木町 ふれあい委員 関としさん）

うちのサロンでは、毎回お弁当をとっているの、注文数の把握のため、事前

に訪問をして参加確認をするようにしています。すると、「最近体の調子が悪いんや〜。病院に行って検査をしたんや」など、普段の関わり以上の情報を聞くことができます。男性の参加が無いことについて、自治会など地域全体で男性サロンの立ち上げも検討中です。

（園部町 サロンボランティア 中嶋美好さん）

65歳以上の独り暮らし高齢者・高齢夫婦世帯に毎月15日前後にチラシを持って訪問しています。私の場合は、ふれあい委員さんと一緒に訪問しています。二人で行くことは、訪問先でのトラブルを防ぐためにも大切です。また話題が豊富になったり一人では見落としがちな相手の変化に気づくこともできます。今後は、留守の方には後から確認の電話をいれてみようかな、と思っています。

（日吉町 民生児童委員 坪之内好野さん）

サロンへ来る人にも来ない人にも案内チラシをもっていき、そこで見守りが出来ていると思っています。

男性がサロンに来るためには、趣味や特技の披露をお願いするなど、何か「出番」を作ることが大切です。また、サロンの案内チラシには前回のサロンの楽しかった様子を掲載することで、参加者の増加につながっていると思います。

（美山町 ふれあい委員 大萱安雄さん）



チラシは見守り活動を行ううえでとても重要なツール（道具）です。訪問の理由になり会話のきっかけにもなります。訪問のやり方の工夫と、チラシの活用で、見守りの質がより上がります。また、見守り活動においては、情報共有や連携の場をどのように作っていくかが鍵になります。サロンの開催は、地域住民の居場所や役割を作るうえで大切です。人は、自分の役割があると前向きになれる。男性の場合、「会話を楽しむ」目的でサロンに参加することを苦手とされる方が多いのも事実です。しかし、男性がサロンの中に自分の役割を見出した時、素晴らしい力を発揮されるはず。見守る側が、時には見守られる側になり、その結果、人が人を支える仕組みでいっぱいの地域になっていくのです。南丹市にはそうした人の関係づくり、絆作りの土壌があるので、より掘っていくって福祉の町づくりを進めてほしいと思います。

（講師・コーディネーター 佛教大学 岡崎祐司 教授）

第2期なんとん
ふれあいプランの
内容からポイントを
シリーズで
紹介します。

「広げよう！地域の温かな見守りの輪」

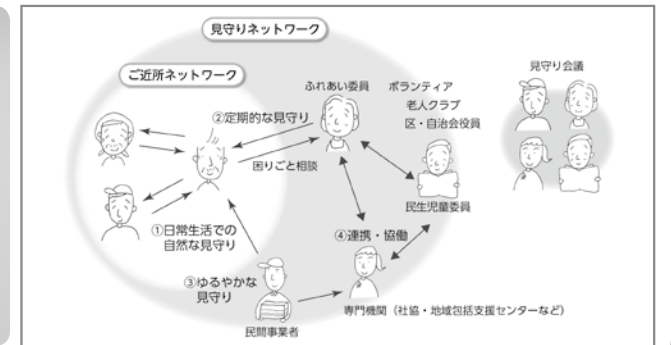
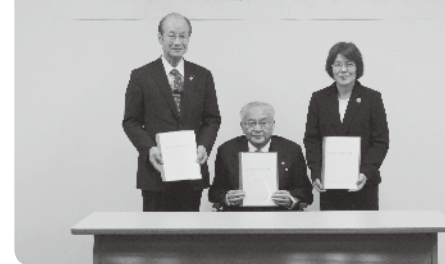
～生協・市・社協で「見守り協定」締結～

この協定では、京都生活協同組合の配達時に、「配達した商品が置きっぱなしになっている」「ポストに新聞や郵便物がたまっている」などの異変を発見したときに、生協から南丹市と南丹市社協へ同時に連絡・通報してもらいます。連絡を受けた市と社協が、連携して速やかに対応します。

平成26年12月24日（水）南丹市役所において、京都生協、南丹市、南丹市社協の三者で「高齢者等見守り活動に関する協定」の締結式を行いました。今後も様々な民間事業者と連携して、地域での温かな見守りの輪を広げ、安心して住み続けられる地域づくりを進めていきたいと思っています。

高齢者等見守り活動に関する協定締結式

京都生活協同組合、南丹市、南丹市社会福祉協議会



地域をつなぐ取り組み

「せせらぎサロン」のそえ（美山町野添）

サロンの
ご近所福祉

きっかけはふれあい委員から… 美山町野添区のふれあい委員・大澤久代さんは、平成23年度就任時から地区に何とかサロンをつくりたいと思い続けてこられました。

平成26年1月に野添公民館で老若男女26人の参加により初めて開催することになったのは、ふれあい委員の思いがきっかけとなり、地区内の方々をはじめ区長さんの全面的な協力のおかげであるとおっしゃっています。

今では、みんなが集まる場の大切さ、みんなでやればできること等々、前向きな話しができることが、サロンならではの実感されています。

4月以降、ほぼ毎月開催され、地区内外の様々な団体や小学校との交流をはじめ、区の行事（敬老会や作品展）への参加・出展など、つながりの輪を広げていくことにも力を注いでおられます。

これからも、野添のみなさんの交流の場となり、ますます元気になれるよう、明るい笑顔の中で「せせらぎサロン」を続けていきたいと願っておられます。



「せせらぎサロン」命名の由来

毎日の生活に溶け込んでいる野添谷のせせらぎを聞きながら、美しく澄んだ心で人々が集い、助け合い、絆を深めていけるよう願いを込めて。



楽しまなくっちゃ! ボランティア

～園部町ボランティア連絡協議会～

親睦交流会

平成27年1月24日（土）園部町のボランティアが集まり、日頃の活動を披露し、みんなで**マジックに挑戦**したり**歌に合わせて手話**をしたりサークル活動を知って見て体験する親睦会をされました。

コントを見たり、**ポイポイ体操**をしたり、体を使いリフレッシュ！**笑って笑って**にぎやかに楽しい企画でした。



ボランティアどうしの助け合い



助っ人のみなさんは各自のエプロンで

給食ボランティア(あじさいの会)から「歳末たすけあい弁当作りで人手が足りなくて困った…」との相談があり、いち早くボラ連として各サークルに呼びかけをしました。

その呼びかけに、ボランティアが集まり無事143食のお弁当ができました。

ボランティアの絆の強さを感じます。

随時会員を募集しています!!

園部町ボランティア連絡協議会各サークル活動の詳細は南丹市社会福祉協議会園部支所(☎62-4125)までお気軽にお問い合わせください。

善意のご寄付ありがとうございました

《平成26年12月1日から平成27年2月28日受付分まで》

聖家族幼稚園保護者会 様	20,000円	バザー収益金の一部を福祉のために
湯浅 義文 様	3,731円	障がい者福祉のために
てづくりフェスタin園部 様	7,500円	福祉のために
村田 正夫 様	5,000円	ベッド借用のお礼に
園部町グラウンドゴルフ協会 様	57,100円	福祉のために
ひだまり 吉田陽子 様	10,000円	福祉のために
三觜 昭 様	200,000円	亡母の供養に
仲井 資具 様	10,000円	福祉のために
吉見 孝夫 様	20,000円	福祉のために
谷 俊則 様	100,000円	亡父の供養に
案山子の会 様	10,000円	福祉のために
加藤 文一 様	100,000円	亡父の供養に
永口 保夫 様	50,000円	福祉のために
若井 啓利 様	100,000円	亡父の供養に
若井 啓利 様	30,000円	ベッド借用のお礼に
山内 崇 様	100,000円	亡母の供養に
廣瀬 強 様	30,000円	福祉のために
大狩 久子 様	10,000円	あじさい園成人を祝う会のために
西田山里民謡会 様	5,000円	福祉のために
神田 衛 様	100,000円	亡父の供養に

株式会社 親愛 代表取締役社長 安達卓志 様	100,000円	福祉のために
近藤千代子 様	50,000円	亡父の供養に
竹村 淳 様	100,000円	亡妻の供養に
井上 勝之 様	100,000円	亡父の供養に
諏訪 新 様	100,000円	亡父の供養に
広瀬 勝宣 様	100,000円	亡父の供養に
匿名寄付 22件	333,364円	
やまびこ 片山勝彦 様	もち米30kg	福祉のために
畑 修 ふとん店 様	タオル15ダース	福祉のために
竹村 淳 様	福祉車両1台	福祉のために



竹村様より福祉車両を寄贈いただきました

～あなたの暮らしをささえます～(生活困窮者自立支援相談)

平成27年4月1日から『生活困窮者自立支援法』が施行されます。この法律は経済的な悩み（経済的困窮）や、身近に頼れる人がいない方（社会的孤立）など、暮らしにくさを抱えた世帯を支援するためのものです。

南丹市社会福祉協議会では、法の施行に先立って平成26年度に生活困窮者自立促進支援モデル事業を南丹市より受託して取り組み、同年8月から「暮らしの相談窓口」を設置し、市民の様々な相談に対応してきました。その中から支援事例をご紹介します。



Aさん 40代男性

《課題》

働く意欲はあるが、希望する職場が見つからない

STEP 1

困っていることをお聞きします

- ・仕事が見つからない
- ・お金がない
- ・家賃や公共料金が払えない

計画の前に緊急支援!

- ・公的な制度、サービスの利用には時間がかかるため、社協のフードバンク※1から当面の食糧（米、野菜、レトルト食品）を提供しました。

※1 フードバンク：食料品を備蓄しておき、食べ物に困窮している人に提供するしくみ

STEP 2

抱えている課題について解決の方法を考え、自立支援プランを立てます。

STEP 3

プランに基づく支援の実施

《働 く》

- ◆農業体験を紹介
- ◆ハローワークに同行して就職活動の支援

《お 金》

- ◆住宅支援給付（家賃の援助）の申請を支援
- ◆生活福祉資金の貸付と返済計画援助

支援の結果

Aさんは現在、農業関係の会社に就職し、毎日頑張っている。

今後は、仕事を続けることと、借入金を計画通りに返済することを目標にしています。

ご本人コメント

助かりました。

人間関係が良い職場で働きたいと思っていましたが、なかなか見つからず大変でした。仕事探しやいろんな制度などを教えてもらって、ありがたかったです。

「今、その人に必要な支援」を組み合わせる

生活に困窮している方への支援制度はいくつかありますが、そのような制度の存在を知らない方もいらっしゃいます。今、本人が置かれている状況で暮らしにくさとなっている原因は何なのか、必要な支援は何かを一緒に考え、解決に向かって支援を行っていくことが、新たに始まる生活困窮者自立支援制度の役割です。

問い合わせ・ご相談

南丹市社会福祉協議会 本所
生活支援センター 暮らしの相談窓口
TEL.0771-72-3220

赤い羽根共同募金

～じぶんの町を良くするしくみ～



平成26年度 南丹市共同募金実績

赤い羽根募金（一般募金） **4,413,139円**

歳末たすけあい募金 **3,730,732円**

みなさまのご協力ありがとうございました。

地域の福祉活動に役立てられています。

「赤い羽根募金（一般募金）」は、さまざまな地域福祉の課題解決の取り組みに活用されています。集まった募金の約70パーセントは南丹市の福祉活動に、残り30パーセントは市町村を超えた広域的な活動に使われます。また、各都道府県共同募金会では、大規模な災害が起こった場合に備えて、募金額の一部を積み立てています。

「歳末たすけあい募金」は、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が安心して暮らすことができるように実施している募金です。



～園部町新町なかよし会サロン～
わきあいあいとした雰囲気

▶歳末たすけあい募金が役立てられました。（平成26年度実施事業）

- ◆在宅の寝たきり高齢者や重度の障がいを抱える方への激励金…………… 140名 700,000円
- ◆障がい児・者の施設及び通所者への激励金…………… 17施設 262名 1,565,000円
- ◆ひとり暮らし高齢者への弁当の配食…………… 514食 762,762円
- ◆年末年始のふれあいサロン活動への助成…………… 85団体 568,400円
- ◆年末年始の地域交流を図る活動への助成…………… 3団体 135,400円 など

▶「赤い羽根募金（一般募金）」を活かします。（平成27年度実施予定助成事業）



やぎふれあいふくしまつり

- ◆「じぶんの町をよくする活動」を募集し、助成します。
 - ◆さまざまな当事者団体の活動充実のために使います。
 - ◆福祉まつりなどの住民イベントを支援します。
 - ◆ボランティア活動が楽しく取り組めるよう支援します。
- ※赤い羽根募金（一般募金）は、集めた翌年度に実施する事業に活用されます。

農芸高等学校 福祉の思いを募金に託して…

京都府立農芸高等学校では、募金活動に取り組まれています。

生徒会と農業クラブのメンバー10名で、登校時の生徒の皆さんに玄関前で呼びかけたところ、好意的に寄付していただけたそうです。集めた募金をどんなことに活用してほしいか尋ねると、「車いすの購入に充ててほしい」とすぐに返事がありました。生徒の皆さんのあたたかい気持ちが伝わってきます。

この募金活動をきっかけに、「コンビニなどのレジ横の募金箱も意識するようになり協力しています。今後も農芸祭などのイベント開催時に募金活動に取り組みたいです。」とお話いただきました。



生徒会長の石川勇飛さん

『募金ができる 自動販売機』

ご存知ですか？

社会福祉法人長生園が運営する「あんしんサポートハウス光華苑^{こうかえん}」に募金機能付き自動販売機が設置されました。飲料メーカーと長生園の協力により、売り上げの一部が南丹市赤い羽根共同募金に寄付され、身近な地域福祉活動に使われます。



光華苑での除幕式（平成27年1月26日）

他に、市役所4号庁舎、長生園ケアハウスにも設置されています。

法人募金や募金箱の設置に ご協力いただきました。 （敬称略・町ごと五十音順）

【園部】井筒ハッ橋本舗、Aコープ園部店、京都農協黒田支店、京都農協園部支店、クリスタル光学、園部船版郵便局、園部郵便局、南丹警察署、農芸高等学校、埴生郵便局、マツモト新そのべ店、道の駅新光悦村、ミニストップ園部町宮町店、るり溪温泉

【八木】男前豆腐店、京都銀行八木支店、京都農協八木支店、公立南丹病院、やぎふれあいふくしまつり元気づくり大会実行委員会、八光館、マツモト八木店、八木郵便局、雪印メグミルク京都工場池上製造所、れいん房

【日吉】猪奥米油店、京都農協日吉支店、クラウンヒルズ京都ゴルフ倶楽部、グリーン日吉、胡麻の夏実行委員会、郷の駅胡麻屋、スプリングスひよし、ゾンネ・ウント・グリュック、日吉絆の会、日吉山の家、日吉ふるさと、日吉郵便局、日吉四ツ谷郵便局、マルゼン胡麻サービスステーション、みとき屋、明治国際医療大学附属病院、湯浅種苗園、吉田モーターズ

【美山】芦生山の家、糸びす屋、大野小学校、大野振興会、大野屋、大野老人クラブ、音訳ボランティア、梶原商店、京都農協美山支店、大丸油業、タナセン、知井振興会、知井小学校、鶴ヶ岡小学校、鶴ヶ岡振興会、鶴ヶ岡郵便局、平屋小学校、平屋振興会、平屋地区地域福祉推進協議会、平屋郵便局、ふらっと美山、フレッシュ衣料ムラタ、宮島小学校、宮島振興会、美山化成、美山かやぶき美術館、美山健康会、美山中学校、美山町自然文化村、美山中郵便局、美山虹の湖郵便局、美山のめぐみ牛乳工房、美山名水、美山郵便局、村おこしセンター知井の里、やまざきショップやまよ、ヤマヨストアー、北桑田ライオンズクラブ

ボランティア インタビュー

今回は、園部町の読書ボランティア「おはなしポケット」の奥村はるみさんをご紹介します。奥村はるみさんは、ボランティア活動を意欲的にされています。地元でもふれあい委員として高齢者の方々のお話を聞かれ、集まれる場所としてサロンを立ち上げるなど活躍の場を広げられています。



奥村はるみさん

様々な出会い

●始められたきっかけは？

子どもの本に興味があり、図書館講座「子どもの本を楽しむ」を受けたことがきっかけです。

その時にサークルのメンバーと出会い仲間になりました。

●してよかったこと大変だったことは？

ボランティアの依頼も多くなり、月一回の定例会では内容を考えるなど打合せで時間が過ぎ、なかなか勉強ができないと思っていました。そんな時、他市のサークルとの交流で教えていただける先生の情報ももらい、良い先生との出会いがありました。お話を届けるための技術を学び、日々の活動に役立てています。

●どんなところにボランティア活動に行かれますか？

「ふれあい広場」や「ふれあいいきい

きサロン」、「敬老会」や「施設の行事」など0歳児から高齢者まで様々なところに呼んでもらっています。

参加者からのうれしい言葉

●心に残っていることは？

最近はお話だけではなく参加型で楽しんでいただいています。

子どもさんには簡単な工作を取り入れ、子どもたちと話しながら、制限なく自由に作ってもらっています。

高齢者の方には手あそびを交え、参加者の話を引出したりすることで楽しい時間を過ごせるよう努力しています。

帰るときに「今日が一番楽しかった」と笑顔で言ってもらったことが心に残っています。

●今後は？

もっと小学生にお話を届けたいと思っています。

今まで通り地道に、

他の地域のサークル活

動を参考に

学習を続け

ていきたい

と思います。



平成27年1月22日に南丹市国際交流会館にて行われました「平成26年度南丹市表彰式」にて、平成25年9月の台風18号災害に対するボランティアの取り組みに感謝状をいただくことができました。

地域の方々をはじめ、ボランティア活動にご協力いただいた方々、みなさまのおかげです。ありがとうございます。



発行

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 ☎ 0771-72-3220 FAX 0771-72-3222
(代表) メールアドレス na_shakyo@cans.zaq.ne.jp

園部支所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 ☎ 0771-62-4125 FAX 0771-63-5606
八木支所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎 17 番地 ☎ 0771-42-5480 FAX 0771-42-4412
日吉支所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 ☎ 0771-72-0947 FAX 0771-72-0732
美山支所 〒601-0722 南丹市美山町安掛下8番地 ☎ 0771-75-0020 FAX 0771-75-0829

ホームページ 南丹市社協

検索